

授業概要

分野	学科目		1年前期・後期		90分講義 15回
専門基礎分野	治療論Ⅱ		30時間	1単位	
授業科目			講師名		
栄養学			管理栄養士 他		
科目目標	1.人間にとっての栄養の意義を認識し、食事療法の基本を学ぶ。				
	回数	項目	内容		
科目内容	1	食事と栄養素	1.食物の摂取と消化・吸収		
	2		2.食品の種類と栄養素 3.栄養素とその働き		
	3	日常生活と栄養素	1.日本人の食事摂取基準		
	4	ライフステージと健全な食生活	1.ライフステージによって異なる栄養		
	5		1)母性の栄養(妊娠期・授乳期) 2)乳幼児期		
	6		3)学童期 4)思春期 5)成人期 6)老年期		
	7	健康と栄養	1.栄養状態アセスメント		
	8	経管栄養と高カロリー輸液の管理と実際	1.栄養療法の種類と適応(経腸栄養法・静脈栄養法の意義と必要性) 2.経管栄養の管理と実際 3.中心静脈栄養の管理と実際		
	9	疾病と栄養	1.手術、検査のための食事 1)低残渣食 2)甲状腺機能検査食		
	10		1.消化器系の障害と栄養(嘔気・嘔吐、下痢、便秘)		
	11		2.循環器系の障害と栄養(動脈硬化、高血圧、心不全)		
	12		3.呼吸器系の障害と栄養(呼吸不全)		
	13	食事指導の実際	1.疾患を治療するための食事と食事指導の実際 1)消化器疾患		
	14		2)内分泌、代謝疾患		
	15		3)腎疾患		
			2.摂食・嚥下障害のある人のための食事		
【授業形態】 講義					
【評価方法】 筆記試験、出席状況					
【テキスト】 わかりやすい栄養学 ニューヴェルヒロカワ 食品交換表 文光堂					